

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 10月 25日
留学先大学/国名	ザルツブルク大学(日本語名) 国名:オーストリア Paris Lodron Universität Salzburg (現地言語名)
留学先の所属学部等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: コミュニケーション学部 現地言語での名称: Department of Communication Studies 学部には所属していますが、様々な学部の授業を受講しています</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:</p>
留学期間	2025年9月～2026年7月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
学年 ※出発時の本学での学年	3年生
I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。 <p>ザルツブルクやウィーンの留学報告書を主に参考にして、準備を進めました。他では、ザルツブルクではありませんが他のオーストリアへ渡航した方の note や、「ちょっとオーストリア」に行きたいんだけど」というサイトを参考にしました。また「ちょっとオーストリアに行きたいんだけど」と言うサイトでは、スーパーや食べ物、移動手段の情報等、生活するうえで便利な情報があるので、渡航してすぐは見ることをお勧めします。</p>	
II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい	
ビザの種類: 在留許可	申請先: Office of Public Order City of Salzburg
ビザ取得所要日数: (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用:
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
<p>【渡航前に用意するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート原本 ・パスポートコピー ・証明写真(パスポートサイズ) ・入学許可証 ・無犯罪証明書: アポステリュをつける <p>※まだ申請していませんが、戸籍謄本・抄本は必要なかったと友人に教えてもらいました。</p>	
<p>【渡航後に用意する者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ÖGK 健康保険 ・Meldzettel ・賃貸契約書 ・残高証明書: €が記載されていれば日本の銀行で発行した証明書でも可。ただし必要な残高は家賃などの条件によって変わるそうです。 ・申請用紙 	

2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。

まだ必要な書類ををしている段階です。これから保険に加入します。

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

II -2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

ザルツブルク大学に留学が決まつたらすぐ、1・2月には寮を探して下さい。

またこちらに来る前にクレジットカードや現金などのお金関連はきちんと調べて用意しておくべきでした。私は到着後に WISE カードを注文したのですが、現地で銀行口座を作ると言ってもそのカードが届くのに少し時間がかかるので、渡航前に作っておくべきでした。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	エミレーツ航空・フライドバイ航空			
航空券手配方法	HIS ※利用した旅行社・旅行サブ、格安航空券情報等があれば記入			
大学最寄空港名	ザルツブルク空港		現地到着時刻	14 時
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	35 分			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

空港前にあるバス停には、バスチケット売り場があるためそこで 24 時間券を購入し、Google map で調べたバスに乗りました。ザルツブルクはバスが多く運行されており、街も小さいため、バス移動が便利です。チケット購入に関しては、SalzburgMobil というザルツブルクのバスアプリ内でオンライン購入できるため、前もってインストールしておくともっとスマートに買えたと思いました。また、1 回の移動だけだったら、24 時間券ではなく 1 時間券を購入すればよかったです。

大学到着日 9 月 11 日 17 時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： _____ 月 _____ 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(WG)	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	WG-Gesucht というアプリ	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前に WG-Gesucht というアプリを使って部屋を確保しました。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
日程	留学生向けに 9 月 15 日～の 1 週間目はオンラインでの説明会、2 週目は対面での説明会がありました。
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	オンライン説明会は、全てではありませんが資料・録画が OneDrive にアップロードされます。オンライン説明会は見なくても、資料を見てザルツブルク大学学生専用のサイトに入れるようになれば何も問題ありませんでした。
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
授業開始日	10 月 6 日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

オーストリアでは、オーナーの署名入り住民票(Meldzettel)を入居後 3 日以内に規則的には提出しなければなりませんが、3 日以内に申請しなくとも、特に問題はありませんでした。

場所: Saint-Julien-Straße 20, 5020 Salzburg

必要な物: 記入した Meldzettel・パスポート・€42 (現金でもカードでもどちらでも大丈夫です)

参考サイト:<https://www.stadt-salzburg.at/meldezettel>

2. その他現地でした手続きは(健康診断、予防接種等)？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ トラブルは？

特になし

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

Sparkasse という銀行口座をオンラインで作成し、デビットカードを手に入れました。27 歳未満の学生用カードであったため、作る際料金はかかりませんでした。ザルツブルク大学の学生証やパスポートが必要でした。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

Hofer というスーパーで Hot という SIM カードを €1.99 で購入し、スマホに挿入した後専用アプリで Hot fix という 1 ヶ月 55MB プランを €9.9 オンラインで購入しました。E-SIM よりも準備が面倒かもしれません、コスパが良いのでおすすめです。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(9月15日頃)
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかつた

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

ザルツブルク大学専用サイトの PlusOnline で、授業の申請期日までに申し込んだ。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食			
9: 00		ドイツ語		ドイツ語	外出	外出	
10: 00		ドイツ語		ドイツ語			
11: 00	ドイツ語		ドイツ語				
12: 00	ドイツ語		ドイツ語				
13: 00	昼食	昼食	昼食	昼食			
14: 00							
15: 00	ジェンダーと 権力						
16: 00	ジェンダーと 権力						
17: 00		英語					
18: 00		英語					
19: 00	夕食		夕食	夕食			
20: 00		夕食					
21: 00							
22: 00							
23: 00							
24: 00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

【留学先大学・プログラム】

言語の壁がそのまま人種の壁になっているように感じます。渡航前からもっと英語にしろドイツ語にしろ勉強しておくべきだったと後悔しています。

【授業】

授業は、私は週4回あるドイツ語についていくのがかなりハードで、復習に追われています。私は4科目(うち1科目は不定期)を履修していて、最初は履修科目数が少なすぎるかもしれないと不安と、せっかく留学しているのだからもっと科目数を増やすべきかと悩みましたが、今では1科目1科目に向き合うのにちょうど良かったと思い始めました。

【宿舎】

ザルツブルク大学は大学直属寮が用意されていないため、大学側からどの寮に住むかを尋ねられることはなく、自分で寮に申し込まなければなりません。私は油断していて申請が遅くなり、寮は全て埋まってしまいました。私が使っていたアプリもあまりお勧めはしません。学生数に対して寮の数が本当に少ないので、私と同じ轍を踏まないように本当に早く寮を探し始めることが推奨します。

【生活全般】

ザルツブルクは日本と変わらないと言ってもいいほど治安が良いので、スリなどの危険性に注意を払う必要はありませんが、どちらかと言うと初めての一人暮らしの環境に慣れることが大変でした。また英語が話せる人は多いですが、店での日常会話は現地の方はドイツ語であったり、予想以上に商品名がドイツ語しかないことなど、暮らすうえでドイツ語が必要なことが多いのも苦労しています。

ザルツブルク自体に沢山観光名所があるわけではありませんが、世界遺産に登録されている通り景観は歴史を感じさせる綺麗さで、街自体も小さいため、生活するのが楽しい街だと実感しています。

またこちらに来て手に入らないものはあまりないため、そこまで持ち物に不安に感じる必要はありません。ただ服は高すぎる所以日本から持ってくるか送ってもらうことをお勧めします。また食材関連については、米やニンニクチューブもアジアスーパーではなく、現地の普通のスーパーで購入することができます。その他、菜箸や味噌、わかめ、本だし、みりん、醤油、ホットケーキミックスやコチュジャンなどはアジアンマーケットで入手できます。しかし、アジアンスーパー日本のインスタントラーメンや日本のお菓子類は値段が優しくなく、種類も限られるため、渡航時に持ってくるべきでした。国際郵便には様々な規制があり、肉エキスが含まれているラーメンは後から送ってもらうことはできないため、国際郵便の内容と飛行機の荷物は渡航前に考えるべきだったと思いました。

10月の2週目から授業が始まったばかりなので、まだ私もちらの生活に慣れたとは言えませんが、自分のペースでゆっくり勉強・生活するのが私に合っていて、留学先に選んだことに満足しています。ただ、現在円安がさらに進行していたり、保険や在留許可取得に予想以上に費用がかかりそうだったりと、出費が辛いです。しかし反対に、おそらく費用面のハードルの高さゆえに、最近の他のヨーロッパの場所とは違って移民が少なくて治安が良いというメリットがあります。